仕　様

形名 / 項目		HTM-3707・HTM-3707-B	HTM-4607・HTM-4607-B
屋内形			
マイコン節電タイプ			
適用料金制度		深夜電力乙(通電制御型に対する料金措置)	
タンク容量		370ℓ	460ℓ
定格		単相 200V 4.4kW	単相 200V 5.4kW
沸き上り湯温		約55℃～90℃(可変)	
重量(満水時)		約56(426)kg	約65(525)kg
外形寸法(mm)	幅	670	
	奥行	730	
	高さ	1665	2005
リモコン外形寸法		幅116×奥行17×高さ120(mm)	
安全装置		自動温度調節器・温度過昇防止器・漏電しゃ断器・過圧防止弁	
配管口径		給水・排水・給湯　R3／4（PT3／4）オネジ	
付属品		アース棒・リモコン・乾電池(単4×3本)・リモコンケーブル(5m)	
別売部品		減圧弁・逃し弁・絶縁パイプ・ホッパー・自動空気抜き弁・凍結防止ヒーター	
付属機能		テレコントロール機能：テレコントロールユニットと専用アダプター（別売品）を接続することにより、外出先からプッシュホン電話を使って通電・断電を行なうことができる。	

HOLS

株式会社 ほくでんライフシステム

〒060 札幌市中央区南1条東2丁目6番地　TEL（011)241-3225

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	

お客様へ……おぼえのため、ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

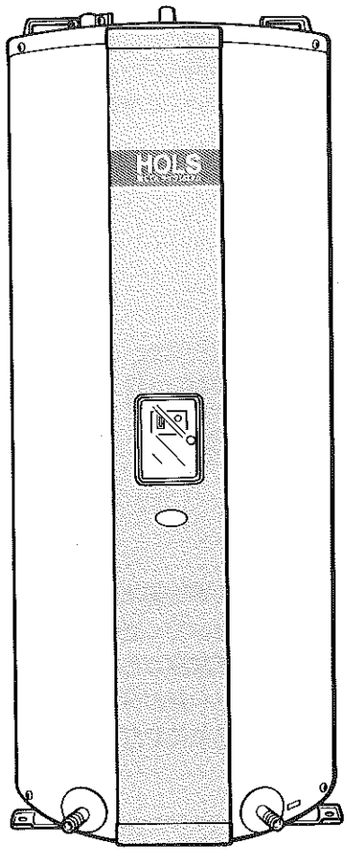
TI（M）☆機CICE（H）

HOLS ほくでんライフシステム 電気温水器取扱説明書

形名　HTM-3707・HTM-3707-B・HTM-4607・HTM-4607-B

〈マイコン節電タイプ〉
HTM－3707……屋内形
HTM－3707－B……屋内形
HTM－4607……屋内形
HTM－4607－B……屋内形
※-Bは BL（BL）認定品です。

使用前にお買いあげいただきました温水器の形名をおたしかめください。



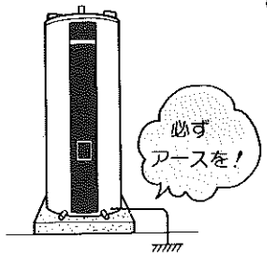
マイコン節電タイプは、通電制御型に対する料金措置の適用を受けられます。適用に当っては最寄りの電力会社に申請してください。尚、適用機種には、それぞれ上記のシールが貼付けてあります。

- このたびは **HOLS** 電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの温水器についてのはたらき、注意事項をよく知っていただき、正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
  またお読みになったあとは、保証書、工事説明書とともに、見やすいところに大切に保存してください。
- この温水器は、通電制御による深夜電力料金の割引の適用を受けられますので、経済的にご使用いただける便利な製品です。いつでもお湯のある、豊かなくらしを、お楽しみください。
- この温水器の据え付けについては、工事説明書をご参考に、工事店とよくご相談ください。

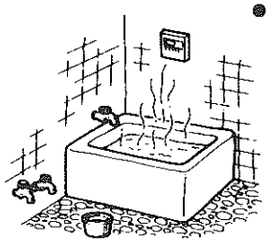
※水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。
※長期滞溜水、配管材料などにより水質が変ることがありますので不用意に飲用しないでください。

つぎのことは必ず守ってください

火災や感電、やけどをおこす原因となり非常に危険です
守らずに万一事故が発生しても、当社は責任を負いません。

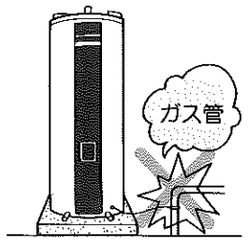


●アースが確実に取り付いていることを確かめてください。アースを取り付けないと万一漏電した場合でも、安全装置〔漏電しゃ断器〕が働きません。

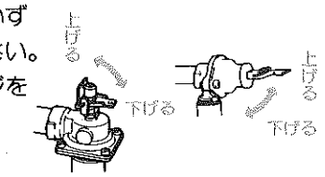


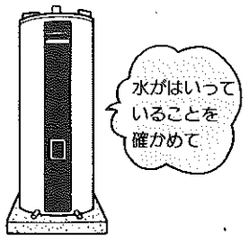
●リモコンは、屋外や浴室等湿気の多い場所およびガステーブルの上等の高温になる所には設置しないでください。故障の原因となります。

●ガス管、水道管へアースしたり、他の器具とアースを共用していないことを確かめてください。



●逃し弁は月に１度必ずチェックしてください。（詳しくは6ページをごらんください）



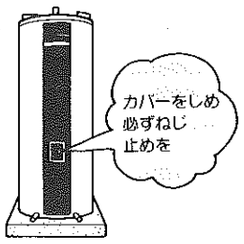


●給湯せんから水が出ることを確かめてから通電してください。水を入れないで通電すると、ヒーターの寿命が短かくなります。

●朝、最初にじゃ口をひらくとき、蒸気が吹き出ることがありますので、やけどにご注意ください。

●ガス類や引火物を温水器のそばにおかないでください。温水器の電気部品から出るスパークでもれたガスなどに、引火するおそれがあります。

●給湯せんをひらいた最初、配管内の水が出てきますが、すぐ熱湯にかわります。やけどにご注意ください。

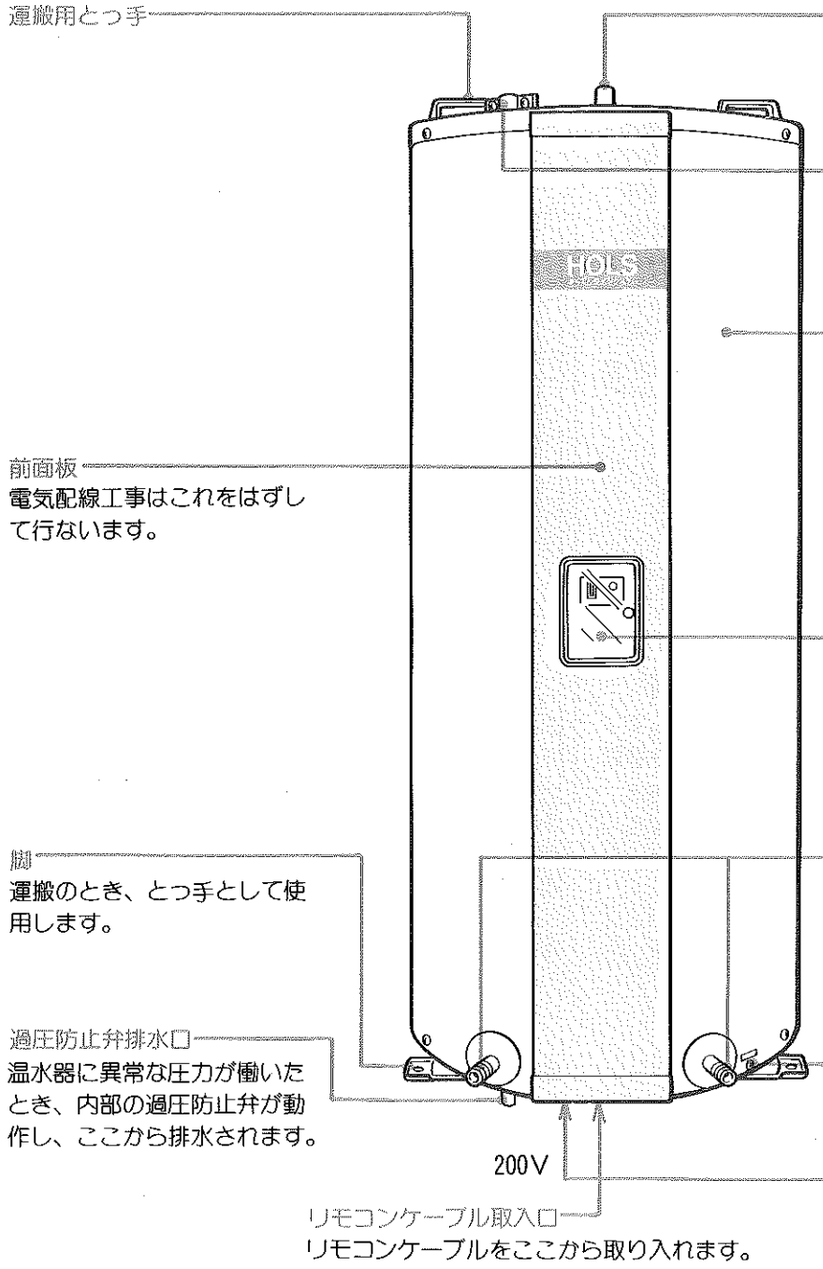


●点検や操作のあとには、電源ボックスカバーをしめ、必ずねじ止めしてください。電源ボックスカバーをしめないと、湿気やゴミが入り、漏電や感電のおそれがあります。ぬれた手でさわらないでください。

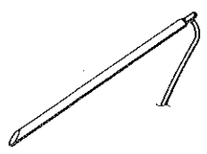
●お湯をご使用になっているときは、じゃ口が熱くなっていますからやけどにご注意ください。

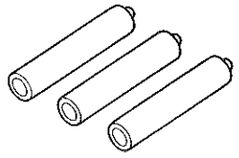
各部のなまえとはたらき

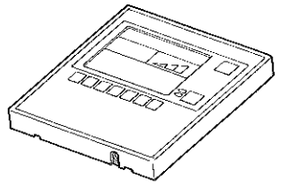
〔1〕 本　体

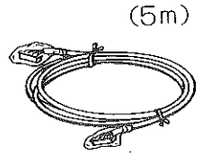


付属品









〔2〕 リモコン

このマイコン形電気温水器は、ご家庭の毎日のお湯の使用量に合わせた予約設定をすることにより、より一層の節電ができます。

表 示 の 説 明

湯温表示
湯温調節スイッチにより「最高」→「低め」→「標準」→「高め」の順に□枠が移動します。

電池切れ表示
電池切れの場合に 電池切れ の表示が点滅します。
※8ページの「電池交換のしかた」により新しい乾電池（単4×3）と交換してください。

通電表示
深夜電力時間帯に入ると表示します。

沸上げ中表示
ヒーターに通電しているときに表示します。

警報表示
本体及び周辺に故障がおきたとき警報の文字が点灯し「1」～「9」までの数字が点滅し故障をお知らせします。

曜日表示
「今日の曜日」を設定した曜日に□枠が点灯し、今日の曜日を□枠で表示します。

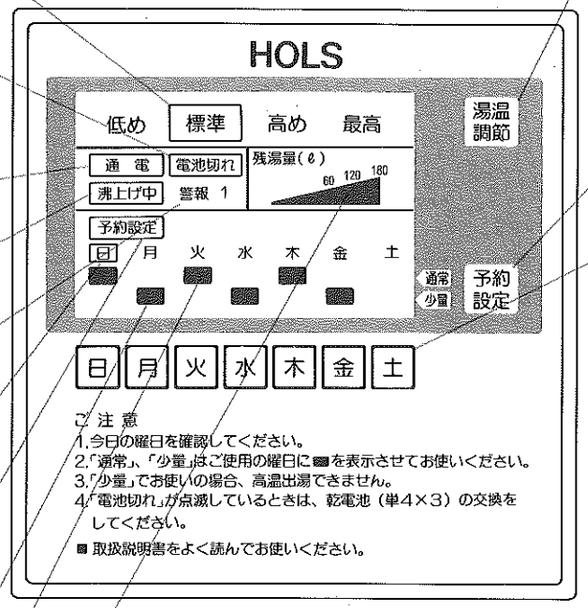
予約設定表示
予約設定 ：「今日の曜日」が設定できます。
予約設定 ：「沸上げ日の予約」が設定できます。

少量予約表示
「少量使用予約」を設定した曜日に■が表示されます。

通常予約表示
「低め」「標準」「高め」「最高」のいづれかのモードで設定の時、■が設定した曜日に表示されます。

残湯表示
タンクに残っているお湯の量を示します。残湯表示を充分に利用してこまめに湯温調節をしていただくことにより節電できます。

残湯表示 60 120 180	残湯量	残湯表示 60 120 180	残湯量
	60ℓ未満		120ℓ以上180ℓ未満
	60ℓ以上120ℓ未満		180ℓ以上



ご注意

- 「日」～「土」の□枠が点滅しているときは「リモコン操作のしかた」により再度予約をしなおしてください。
  なお、点滅状態のまま使用されますと、予約は解除され、湯温調節は「最高」の位置で湯が沸きます。
- 警報表示「1」～「9」が点滅しているときは、故障のおそれがありますので、お買いあげの販売店または添付のお客様相談窓口にご連絡ください。
- 沸上げ日の予約および湯温調節の変更は深夜電力通電開始時刻までに行なってください。深夜電力通電中は、設定変更はできません。

操作スイッチの説明

湯温調節スイッチ
沸上げる湯の温度調節を行ないます。
設定する位置に□枠を点灯させます。
沸上げる温度のめやす

「最高」	水温に関係なく	約90℃
「高め」	水温により	約65～85℃
「標準」	水温により	約60～80℃
「低め」	水温により	約55～70℃

※ただし「最高」のとき、残湯量がなく水温が15℃未満のときは約90℃まで沸上がりません。

予約設定スイッチ
「今日の曜日」または「沸上げ日の予約」を行なうとき、このスイッチで「予約設定」または「予約設定」にしてモードを切替えます。

曜日設定スイッチ
「今日の曜日」「沸上げ日の予約」「少量使用予約」の設定を行ないます。
※少量使用予約を行なった日は給水水温・湯温調節設定に関係なく約55℃で沸上げを行ないます。

●上手なリモコン設定のしかた

この温水器は1週間分の沸上げ日の予約ができます。その週のご家庭の事情に合わせた予約設定を行なうことにより電気のムダ使いを防ぎ、より一層の節約ができます。

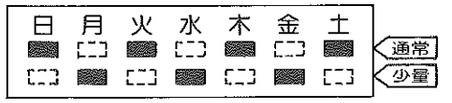
- 旅行等によりご家庭を2～3日留守にするときはその期間の予約を解除しておき、帰宅日に合わせて沸上げの予約をしておけば、留守の間節電ができ、帰った日に入浴することができます。
- 予約設定は7日間経過すると同じ予約をくり返します。

●上手なリモコン設定のしかたの例

A．家族で金曜日から日曜日にかけ旅行に出かけ日曜日の夜、帰ってきて入浴したい。

※金曜日と土曜日にはお湯を沸かさないでお湯を節約できる。

B．夏、月・水・金曜日は、浴槽へ湯を張らずにシャワーですませる。



※月・水・金曜日は少量予約にして節電する。

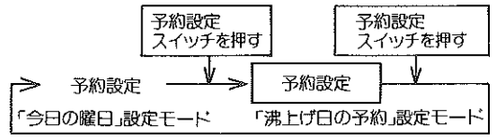
ご家庭の一週間のお湯の使用量は次の順序で予約してください。

●リモコン操作のしかた

リモコン内部に乾電池がセットされると「日」～「土」の表示部に□枠が点滅します。
（点滅しないときは、「土」と「湯温調節」のスイッチを同時に押して離してください。マイコンがリセットされます）

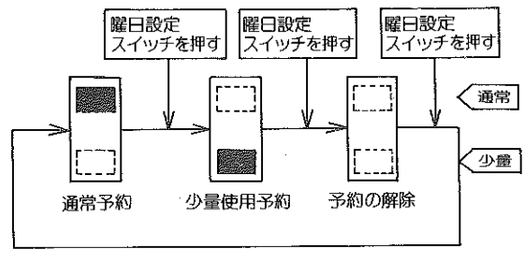
1 今日が何曜日なのか曜日設定スイッチを押してリモコンに記憶させます。
押した曜日に□枠が表示されます。

2 予約設定スイッチを押します。
「予約設定」が「 予約設定 」と表示が変わります。

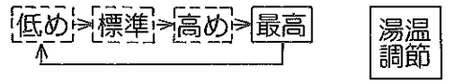


（通常予約モードは、各曜日とも■表示となっています。このままで毎日通常予約モードで使用になれます）

3 湯を沸かす必要のない日、少量予約をするときは「曜日設定スイッチ」を押してください。1回押すごとにつぎのように切替ります。



4 湯温調節スイッチを押して沸かす湯の温度を決めます。



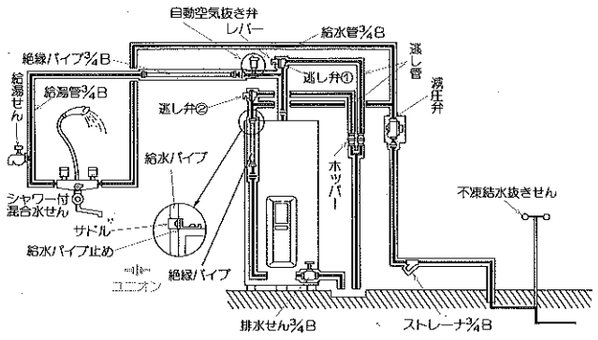
湯温調節スイッチを押すと矢印の順に表示する位置が変ります。設定位置の□枠を表示させてください。
以上で設定が終了です。設定した内容は変更されないかぎり継続してくり返されます。

使いかた

準備　よくお読みください。

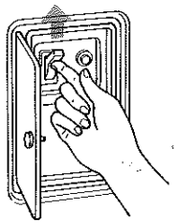
給水　最初はタンクや配管内のゴミなどを洗い流すため給水したら１度全部排水し、再び給水してください。

標準配管例



通電のしかた

給水が終りましたら本体正面の電源ボックスカバー内の漏電しゃ断器のツマミを「入」にしてください。
操作後電源ボックスカバーは確実にねじ止めしてください。



1　最初の給水のしかた

(1)排水せんをとじます。
(2)給湯せん、不凍結水抜きせんをひらきます。
　約20～30分で給湯せんから水が出てきます。
　これでタンクは満水になります。

2　排水のしかた

(1)不凍結水抜きせんをとじます。
(2)逃し弁①のレバーを上げます。レバーを上げないと、タンクの水が抜けにくくなります。
(3)排水せんをひらきます。
　約30分～40分で水が抜けます。

3　再給水のしかた

(1)逃し弁のレバーを下げます。
(2)排水せんをとじます。
(3)不凍結水抜きせんをひらきます。
(4)給湯せんから水が出てきたら給湯せんをとじます。

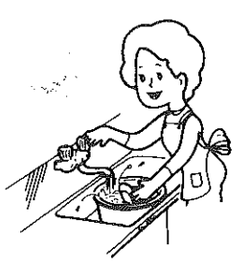
ご注意

- 通電時間内にお湯を使ったり、給水温度が15℃未満のときには、約90℃まで沸き上がらないことがあります。
- 通電されますと、逃し管から一晩で約10リットルの膨張水が出ますが、異常ではありません。

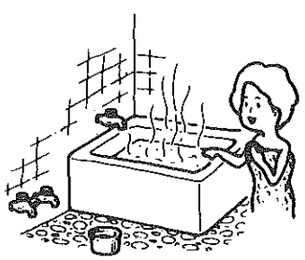
お湯の上手な使いかた

1日に使用できる湯量は限られています。
お湯は大切にお使いください。

- お湯は容器に受けて使いましょう。流し洗いは、お湯不足の原因になります。



- お風呂に給湯するときは、湯をあふれさせないようにしましょう。

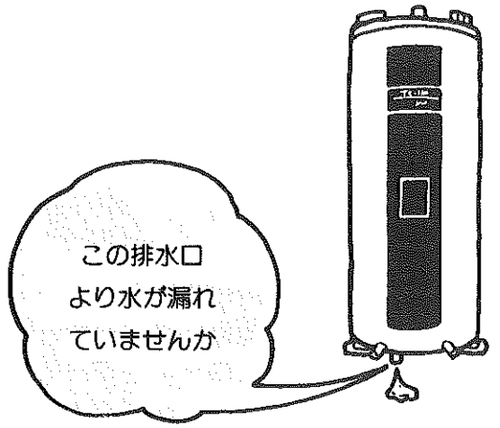


- お風呂がぬるくなってさし湯をするときは、お湯があふれないように、残り湯をへらしてからお湯をたしましょう。
- 入浴はできるだけ夜11時以前に済ませるようにしましょう。
　夜11時以降に湯を使うと、翌日の湯量不足の原因となります。

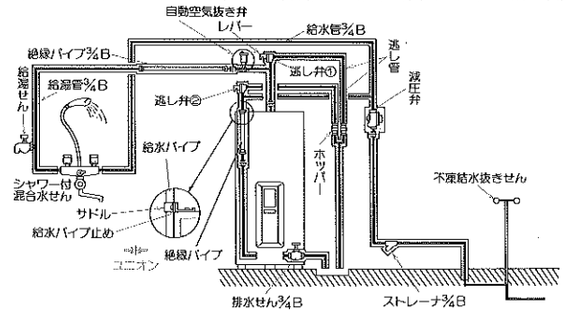
- 浴槽にはさめやすいものもあります。お風呂のふたはいつもきちんとして、家族が続けて入るようにしましょう。

過圧防止弁について

- 過圧防止弁排水口より水（または湯）が漏れている場合には、配管システムまたは温水器に異常がありますので漏電しゃ断器のツマミを「切」にし、不凍結水抜きせんをしめてからお買い上げの販売店または添付のご相談窓口に連絡をして修理を受けてください。



凍結防止について



- 配管は、標準配管例のとおり不凍結水抜きせんを使った凍結防止配管をしてください。
- 保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると配管内の水が凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止対策を講じてください。

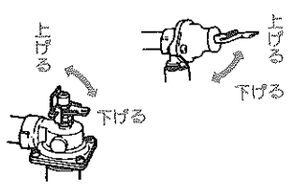
凍結防止ヒーターを使用するときは、次の点にご注意ください。

- 減圧弁および温水器出口から逃し弁についているホッパーまでおよび凍結のおそれのあるすべての配管部分に巻いて保温してください。
- 差し込みプラグが下から出るように巻いてください。
- 凍結防止ヒーターの100ボルトコンセントは、ヒーターコードの出口より高い位置に取り付けてください。低いと水がコードにつたわってコンセントにかかるおそれがあります。

逃し弁の動作チェックのしかた

月に１度、逃し弁のレバーを2～3回上げ下げして動作をチェックしてください。

- レバーを上げたとき排水し、下げたとき排水が止まれば正常です。

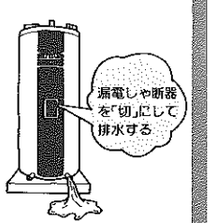


ご注意

- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出るおそれがあります。
- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。
　逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水もれするおそれがあります。

長期間お使いにならないとき

- １か月以上お使いにならないときには、必ず漏電しゃ断器のツマミを「切」にしてください。
　タンクの水は変質するおそれがありますので、全部排水してください。



ご注意

- 再びご使用になるときは、必ず給水して、タンクが満水になったことを確かめてから、通電のしかた（5ページ）により、通電準備をしてください。
- 翌日ご使用になるときは、給湯せんから最初配管内の空気と蒸気が出ます。

- １か月以内の比較的短期間の場合には、漏電しゃ断器のツマミを「切」にしてください。

寒冷地仕様についてのご注意

この機器は、労働省・労働安全衛生法施行令（昭 57.4.20 政令第 124号）及び日本工業規格（ＪＩＳ）により、水頭圧10m以下（1kgf／㎠以下）で使用することが義務付されているため、必ず **減圧弁** 及び **逃し弁** を取付けて使用してください。

(1) 水道に直結して使用する場合は、必ず次に掲げるもので、かつ、当該水道事業体が承認するものを使用してください。
① （社）日本水道協会の型式登録品で、かつ、検査合格証が貼られている減圧弁及び逃し弁。
又は、
② ＪＩＳマークが表示されている水道用減圧弁及び温水器用逃し弁。

(2) 水道に直結する場合で、寒冷地用の減圧弁及び逃し弁の使用が義務付されている地域では、必ず次の表示を確認の上、使用してください。

（社）日本水道協会の「型式登録品で、かつ、その検査合格証のあるもの」の場合	
丸・寒ラベル	減圧弁・逃し弁ともに、（社）日本水道協会の検査合格証に丸・寒表示がある。 丸・寒表示 JWWA ⊙
ＪＩＳマーク表示の場合	
減圧弁のラベル	水道用減圧弁は、設定圧力0.80kgf/㎠、ＪＩＳマーク及び「寒冷地用」表示がある。 水道用減圧弁（寒冷地用） AB-123C-DEFG 水平－垂直配管 最高使用圧力 7.5kgf／㎠ 許可番号 設定圧力 0.80kgf／㎠ （株）△△製作所 赤地に銀文字
逃し弁のラベル	温水器用逃し弁は、吹始め圧力0.95kgf／㎠又は、0.97kgf/㎠とＪＩＳマークの表示がある。 温水機器用逃し弁 AB-123C-D 許可番号 吹始め圧力 0.95kgf／㎠ （株）△△製作所 赤地に銀文字

※当社専用部品は(社)日本水道協会の型式登録品で、かつＪＩＳマークが表示されていますので、必ず当社専用部品をお使いください。

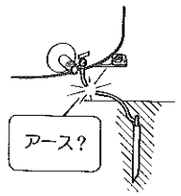
お手入れのしかた

漏電しゃ断器の動作確認を

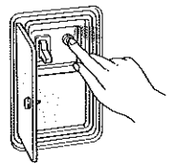
漏電しゃ断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

● 1か月に1回は、漏電しゃ断器の動作確認を深夜電力の通電時間内に、つぎのように確認してください。（通電表示はリモコンに付いています）

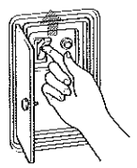
1 アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。



2 正面の電源ボックスカバーをあけて、テストボタンを押してください。
漏電しゃ断器のツマミが「切」になり、通電表示が消えれば正常です。



3 テストのあとは、必ずツマミを「入」にもどし、電源ボックスカバーを確実にねじ止めしてください。



ストレーナーの掃除のしかた

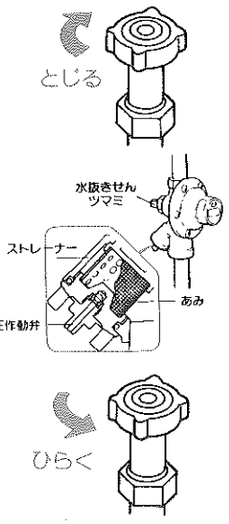
湯水の出が悪くなったとき、また6か月に1回はつぎの手順でストレーナーの掃除をしてください。

● この時、全ての水湯せん（蛇口、シャワー等）はとじたまま行なってください。
あけた場合、ストレーナー取付部から水が吹き出るおそれがありますので、事前にバケツ等に清掃用の水をくんでおいてください。

1 不凍結水抜きせんをとじます。

2 ストレーナーのふたをはずし、あみを掃除します。

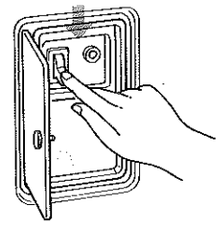
3 もとどおりに組み込み、不凍結水抜きせんをひらきます。



タンク内の掃除のしかた

使用しているうちに水あかや沈殿物がタンクの底にたまります。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず1か月に1回はつぎの手順で排水管から水あかなどを出してください。
タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。

1 漏電しゃ断器のツマミを「切」にします。



2 不凍結水抜きせんをとじます。

3 逃し弁①（P5標準配管例参照）のレバーを上げます。

4 排水せんをひらきます。

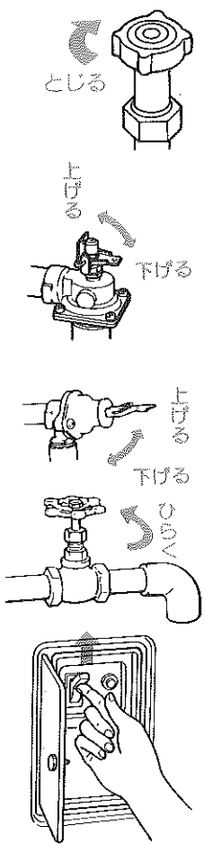
5 よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんをとじます。〔排水が見えないときは2分間くらい排水してください。〕

※お湯が出てくることがありますので、やけどに注意してください。

6 排水が終りましたら不凍結水抜きせんをひらきます。

7 逃し弁からお湯が出てきたら逃し弁のレバーを下げます。

8 漏電しゃ断器のツマミを「入」にします。



ご注意

- 日常、配管の保温材破損や水漏れがないかを確認してください。

断水および近くで水道工事が行なわれるとき

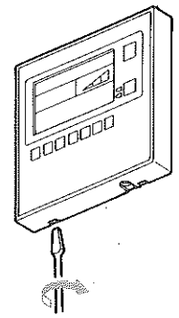
- 工事が行なわれる前に不凍結水抜きせんをとじてください。
- 解除になったら、不凍結水抜きせんおよび水側のじゃ口をあけて、水がきれいになったのを確認してから温水器をお使いください。

電池交換のしかた

リモコンに 電池切れ の表示が点滅していたら、つぎの手順で乾電池を交換してください。

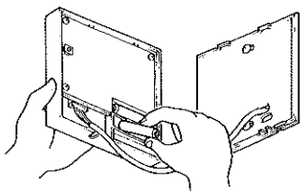
● 使用する乾電池：単4乾電池×3本
［RO3 （UM-4UG）
またはLRO3 （AM4）］

1 ベースよりリモコンカバーを取り外します。
（巾5㎜以下のマイナスドライバーでミゾ部に差し込んでヒネってあける）

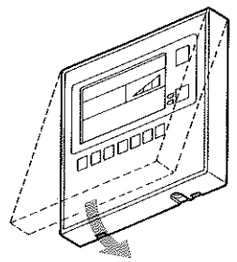


2 リモコンカバーの内側にある単4乾電池3本を取りはずしてください。

3 新しい乾電池を電池ケースの⊕⊖にあわせて入れてください。



4 リモコンカバーの上側をベースに引っ掛け、ケーブルのあまった部分を埋込ボックス内に押し込みながら下側をベースに押し込み、止めます。



以上で電池交換は終了です。

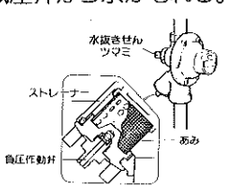
※「日」～「土」の□枠が点滅していましたら、P4の「リモコン操作のしかた」により再度予約しなおしてください。

ご注意

1. 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. リモコン内部のシートの下には手をふれないでください。
5. リセットスイッチは、サービスマン以外手をふれないでください。
6. 使用済の乾電池は、燃えないゴミとして捨ててください。

修理を依頼される前に

つぎのような現象のときは、故障でないときもありますので、修理を依頼される前に必ず次のことを確かめてください。

現　　象	確　認　事　項	処　　置
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	●不凍結水抜きせんはひらいていますか。 ●断水ではありませんか。 ●減圧弁のストレーナ部がつまっていませんか。 ●配管部分が凍結していませんか。	●とじていたら、ひらいてください。 ●水道局へ問い合わせてください。 （断水が終わるまで待ってください） ●7ページによりお手入れをしてください。 ●お買いあげの販売店または添付のお客様相談窓口にご相談ください。
お湯が沸かない。	●深夜電力電源のブレーカーが「切」になっていませんか。 ●漏電しゃ断器のツマミが「切」になっていませんか。 （リモコンに警報6、7または警報5が表示されていませんか）	●「切」になっているときは、「入」にしてください。 ※2度、3度と「切」になる場合は故障のおそれがありますので、お買いあげの販売店または添付のお客様相談窓口にご相談ください。
	●リモコンに予約設定されていますか。 （「通常」か「少量」に ■ が点灯していますか）	●予約がないときは、■ を点灯させてお使いください。
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	●湯温調節の位置は適当ですか。	●上のランクへ切替えてください。 （例えば 低め → 標準 ）
	●深夜電力の通電中にお湯をたくさん使用しませんでしたか。	●翌日までお待ちください。
	●いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	※湯温調節 最高 のとき、残湯量がなく、水温が15℃未満のとき、90℃まで沸き上がりません。
	●タンクへの給水温度が15℃未満ではありませんか。	
	●逃し弁の逃し管から昼間お湯が流れていませんか。	●6ページにより、逃し弁の動作チェックをしてください。 ●お湯が止まらないときは、逃し弁を交換してください。 ※逃し弁は消耗部品です。
汚れたお湯が出る。	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。	●水がきれいになったのを確認してから温水器をお使いください。 （8ページ「ご注意」をご覧ください）
	●タンク内の掃除をしていますか。	●8ページによりタンク内の掃除をしてください。
減圧弁から水がもれる。 	●負圧作動弁からもれるときは、吐水口をマッチ棒などで数回つついてみても止まりませんか。 ●水抜きせんからもれるときは、ツマミを右にねじ込んでも止まりませんか。	●水もれが止まらないときは、お買いあげの販売店または添付のお客様相談窓口にご相談ください。

異常の表示と処置の方法

この温水器には異常時の自己診断機能があります。
リモコンにつぎの表示がでているときは、何等かの異常がありますので点検および処置を行なってください。
（点検・修理の依頼はお買い上げの販売店または添付のご相談窓口にご相談ください）

リモコンの表示	原　　因	処　置　方　法
警報 1	水温・湯温検知センサー回路の故障	湯の沸き上げをしないので点検・修理を依頼してください。
警報 2	残湯量180ℓ検知センサー回路の故障	湯の沸き上げをしますが点検・修理を依頼してください。
警報 3	残湯量120ℓ検知センサー回路の故障	
警報 4	残湯量60ℓ検知センサー回路の故障	
警報 5	深夜電力時間帯終了後24時間以内に次の通電がこない。	漏電しゃ断器、配線用しゃ断器がOFFになっていないか確認してください。 OFFの場合は、ONにしてください。 次の深夜電力時間帯になれば自動的に消えます。再度表示した場合は、点検・修理を依頼してください。
警報 6	深夜電力時間帯に2時間以上の停電があった。	電力会社に停電があったかの確認をしてください。 次の深夜電力時間帯に2時間以上の停電がなければ自動的に消えます。
警報 7	深夜電力時間帯によるヒーターの温度上昇値が低い。	湯の沸き上げをしますが点検・修理を依頼してください。
警報 9	温水器本体とリモコン間の交信異常	湯の沸き上げをしますが点検・修理を依頼してください。

修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電しゃ断器を「切」にし、不凍結水抜きせんをしめてからお買いあげの販売店または下記のご相談先にご相談ください。
  なお、ご相談されるときは、電気温水器の形名およびお買いあげの時期、故障の状況をお忘れなくお知らせください。
- 当社はこの電気温水器の補修用性能部品を製造打切後、最低6年間（BL認定品は10年間）保有しています。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ご贈答やご転居などで、修理サービスについておわかりにならないときは、お買いあげの販売店または下記のご相談先にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

保証について

- この電気温水器には「保証書」がついています。
- 保証書はお買いあげの販売店で発行しますから、必ずお受けとりください。
  万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので大切に保管してください。
- 保証書にお買いあげ〔据付〕年月日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。
  もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申しつけください。
- この電気温水器の保証期間は、お買いあげ〔据付〕いただいた日から1年(BL認定品は2年)です。
  ただし、タンク保証期間は5年間です。
- その他詳細は保証書をご覧ください。

ご相談先

お近くのお客様相談窓口にご相談ください。なお所在地は添付一覧表を、ご参照ください。

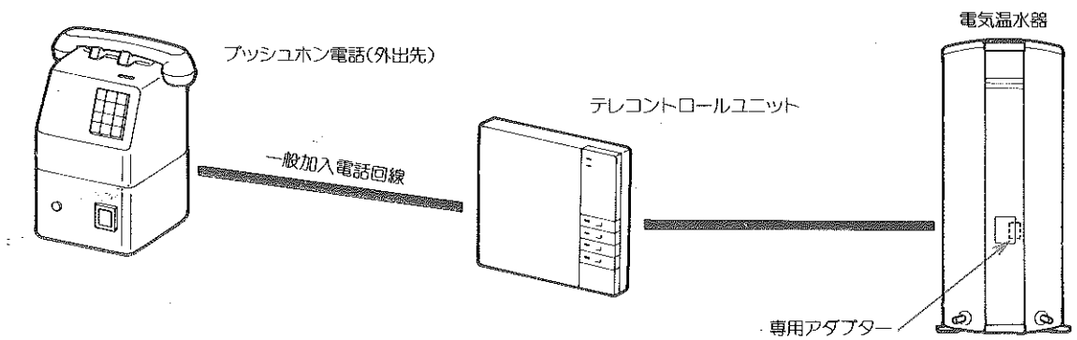
定期点検のおすすめ

- お手入れの方法はご自身でもできるような簡単な内容になっておりますので、「逃し弁の動作チェックのしかた」および「お手入れのしかた」により行なってください。
- なお、更に細かく点検を行なう場合は、専門の技術者がお客様に代って定期点検することもできますので、お買いあげの販売店または添付のお客様相談窓口にお問合わせください。

テレコントロールシステムを使用する場合について

この温水器は、テレコントロールユニットと専用アダプターを接続することにより、外出先からプッシュホン電話を使って通電・断電したり、現在のリモコンの予約状態を確認することができます。

■システムの構成



※使用するテレコントロールユニットの形名はお買いあげの販売店または、添付のお客様相談窓口にお問い合わせください。
※テレコントロールシステムをご使用するときは、別機器のテレコントロールユニット及び別売品の専用アダプターに付属の説明書をよく読んでください。

MEMO